

チロールは原料が石油ですから、燃せば燃えます。しかし、燃えるとき高熱とガスが発生するため、焼却炉を痛めるとともに公害の原因になる恐れがあります。

燃せないごみはビニール、プラスチック、発泡スチロール、マット、ジュタン、ガラス、金物などです。

これら燃せないごみは袋に入れて出してください。

●ごみは、燃せるごみと燃せないごみに必ず分け、決められた収集日の朝、8時30分までに出してください。

ごみ収集車の行った後に出されたごみは腐って悪臭を放ったり野犬の餌になるなど、みんなの迷惑になります。



再資源がいつぱい

ごみの中には再資源となるアルミニウムや銅、鉄、紙、ビンがたくさん入っています。

ごみの中から、これら再資源となるものを回収すれば、ごみも減り、ごみ処理にかかる経費も節約できるのです。

日本は資源の少ない国ですから、これらの資源のほとんどを外国から輸入しています。

1トンの紙をつくるには4.5立方メートルのチップが必要ですが、古紙なら1.5

トンの紙をつくるのに比べて約1.5倍で済みます。1トンの古紙からは65巻のトイレットペーパーが5個できます。

古紙から紙をつくる方がパルプからつくるより重油や電力を使いません。そのうえ、古紙を利用すれば、天然資源の木材を守ることになります。

ごみを出すとき、これら再資源のことを考え、ごみを上手に利用しましょう。

水切りを必ずしましょう

市環境衛生課が5ヵ月間にわたり調査した結果によると、市内から出る燃せるごみの52%までが紙類で、あとは台所のごみ、プラスチック、木、布、金属、その他の順になっていました。

紙ごみは東京都に比べると約1.15

倍になっています。

特に紙ごみが多いのは団地および民公営の住宅でした。

紙ごみの多くは包装紙、雑誌、段ボールです。これらうまく回収すれば立派に再資源として利用できるものです。

また、ごみの中には25%の水分が含まれています。東京都と比べると半分ぐらいの値です。この少ない理由は東京都より紙ごみが多く、台所からのごみが少ないためです。

台所からのごみやぬれた紙は、水分が蒸発しないと燃えません。このため乾いたごみより余分に貴重な重油を使います。

台所からのごみを出すときは、一度、ギュウとしぼって水分を少なくして出してください。



天間川坂町内会会長 都築千代治さん

市内で最も、ごみの再利用運動の進んでいる天間川坂町のきれいな街づくりにスポットをあててみました。
どうすれば町内からのごみを少なくでき、街がきれいになるかと考え、7年前から町内全体のごみ再利用運動を始めました。回収は2ヵ月に1回、日程はチラシで。紙類、ビン、金物、布と分けて道沿に置いてもらい、種類ごとに決めた車で回収しています。毎年、約30万円をごみから得て、町内の運営や行事などに役立て、みなさんに喜ばれています。

表紙のことば

日本の南はるか五千五百キロのバリ島(インドネシア共和国)から、四月十六日、小学五年のニラ、イダ、カテさんが教育親善使節として市役所と富士南小学校を訪れました。
南小では五年一組のみなどと給食を食べながらの交歓会。日本の印象は……という質問に「とても寒いので、びつくりしています」。この日の気温はバリ島より二十度も低い十三度でした。



- ・ 5月18日 □
外科 中央病院 61-8800 本市場
" 芦川病院 52-2480 中央2
産婦人科 山下医院 52-0611
国久保
- ・ 5月25日
外科 宮下医院 61-0376 平垣
" 米山病院 52-3060 吉原4
産婦人科 長野医院 61-1907
柚木
- ・ 内科、小児科は医療センター(長者町)で行います。 ☎ 52-3104